

2025年 第50週 (12月8日～12月14日) の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 インフルエンザについて (※依然、警報レベルとなっています。)
- 2 管内の感染症発生状況 (インフルエンザ以外のもの)
伝染性紅斑が終息基準値を下回りました。

I インフルエンザについて

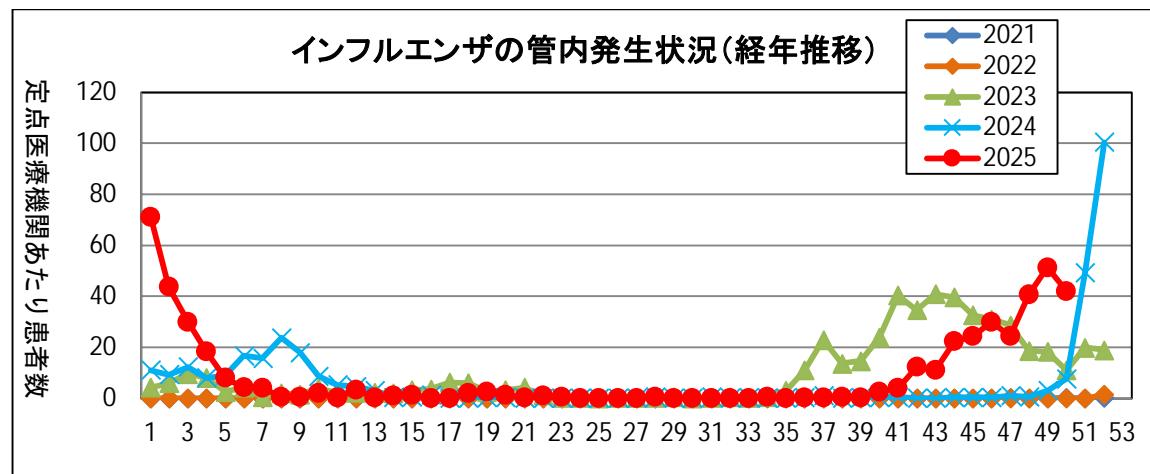
管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週 42.00 人で、先週 (51.33 人) から減少しましたが、終息基準値 (10.00 人) 以上であり、依然、警報レベルとなっています。兵庫県内の定点あたり患者数も今週 35.49 人で、先週 (37.47 人) から減少しましたが、依然、警報レベルとなっています。

直近の 5 週間に県内の定点医療機関から報告された患者 33,589 人の年齢分布では、5～9 歳が 35%、10～14 歳が 23% で、15 歳未満が全体の 78% を占めています。

また、県内の学校等において、当所管内分 11 件を含め、今週 415 件 (先週 450 件) の臨時休業が報告されています。

社会福祉施設等においては、当所管内分 3 件を含め、今週 14 件 (先週 18 件) の集団発生が報告されています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

[インフルエンザ](#)

2 管内の感染症発生状況 (インフルエンザ以外のもの)

- (1) 管内の全数把握感染症 (すべての医療機関から報告を求める感染症)
第50週は、報告はありませんでした。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

（2025年50週）※定当：定点当たり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
126	42	1	0.5	-	-	4	2	6	3	-	-	1	0.5	1	0.5	1	0.5	1	0.33

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性結膜炎		無菌性結膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)		急性呼吸器感染症		
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	347	115.7

※2025年4月7日から急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

◆厚生労働省ホームページ

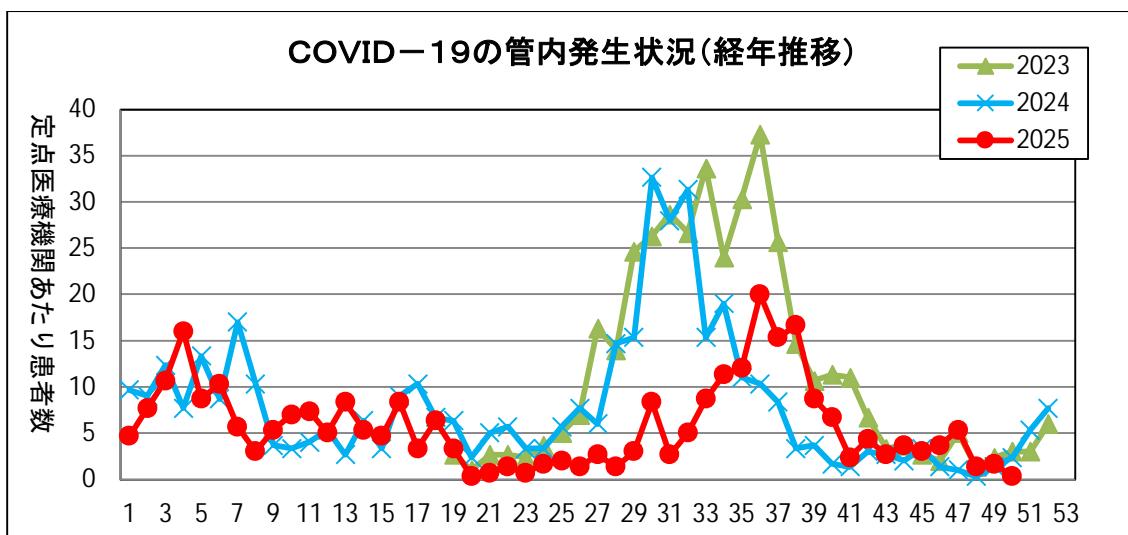
急性呼吸器感染症(ARI)

令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症(ARI)総合対策

管内では、新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数が今週0.33人（先週1.67人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数は今週0.95人（先週0.88人）となり、先週から増加しました。地域別では赤穂保健所管内が4.67人と最も多く、丹波保健所管内3.00人、加古川保健所管内2.33人となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週1件（先週3件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する情報

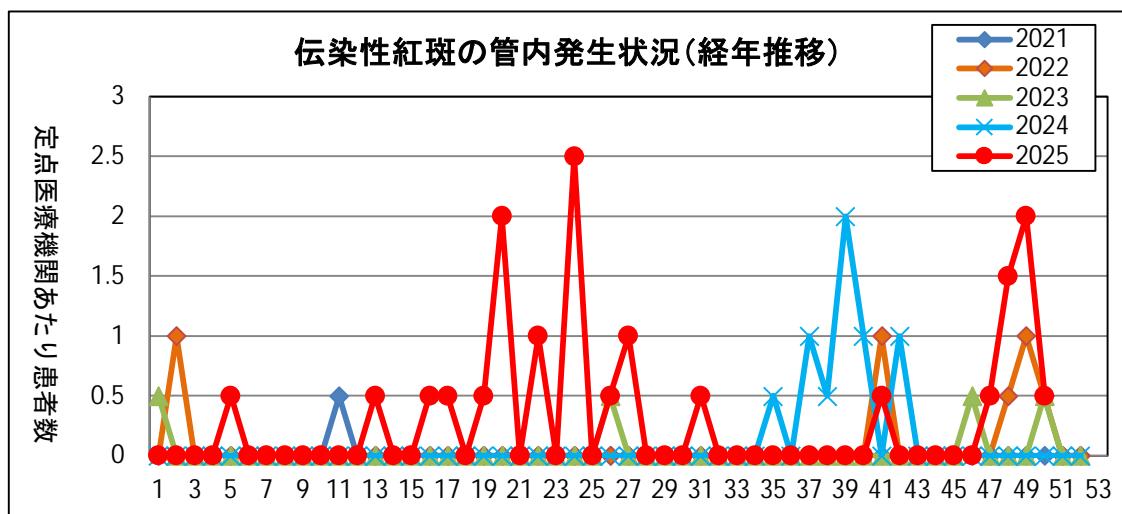
◆厚生労働省ホームページ

新型コロナウイルス感染症について

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

コロナウイルス感染症

また、管内の伝染性紅斑の定点あたり患者数は0.50人で、先週(2.00人)から減少し、終息基準値(1.00人)を下回りました。兵庫県でも0.44人で、先週(0.70人)から減少しました。伝染性紅斑は、「ヒトパルボウイルスB19」による感染症で、両頬と手足の赤い発疹を特徴とし、頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれています。子どもに多い感染症ですが、大人が感染することもあります。頬に発疹が出現する7~10日前くらい前に、微熱や風邪症状が見られることが多く、この時期にウイルスの排泄量が最も多くなり、発疹が現れたときには感染力はありません。発疹のピークは3~4日目で、7~10日経つと次第に消えていきます。一度感染すると終生免疫が得られます。過去に感染したことのない妊婦が妊娠中に初めて感染すると、赤ちゃんが胎児水腫という病気になることがまれにあるので注意が必要です。発疹が出現する前の時期に感染力があるため、手洗いやマスクの着用等、日頃からの基本的な感染対策が重要です。



<感染症に関する情報>

- ◆[兵庫県ホームページ](#)
- [伝染性紅斑について](#)
- ◆[国立健康危機管理研究機構ホームページ](#)
- [伝染性紅斑](#)